

月刊「ワークホームだより」3月号

発行:2026年2月25日 発行者:ワークホーム高砂
〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



この仕事は自分を豊かにさせてくれる！

～現場が輝いてこそ、崇高な理念や素晴らしい建物も価値を持つ vol.4～

副施設長 亀山 隆幸

先日、サービス管理責任者 更新研修がありました。5年に一回、受講する必要があるのですが、改めてこの仕事を通して、自身を豊かにさせていただけることに感謝する機会でもありました。

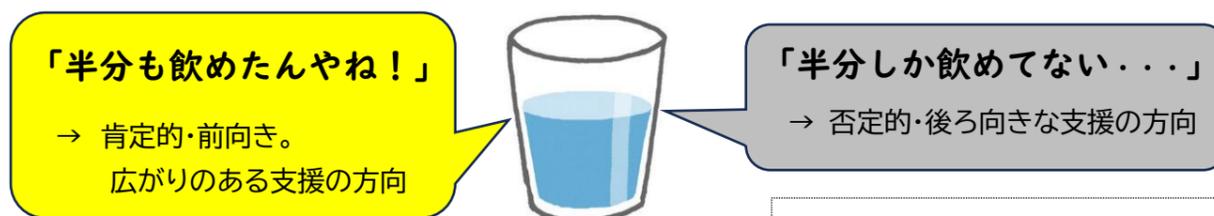
私は以前、一般企業にいましたが、当時は「大きな企業で働けることが幸せ」という価値観しかありませんでした。この仕事を通して得た学びは、子育てや親の介護、PTA 活動や自治会活動(祭り保存会)など、生活の中で役立っていることがたくさんあります。今回は、サビ管研修での「リフレーミング」のことを綴ります。

1 相手を変えるには まず支援者が変わる

まず、支援者自身が利用者との関係を通して変わりうる柔軟性を身につけていることを前提となります。ただ、柔軟性があればよいのではなく、「利用者から学んだ時、本当の学びになる」ことを実感しています。

2 「リフレーミング」は言葉遊びか？

リフレーミングとは、「物事を捉える枠組み(フレーム)を変えることで視点や解釈を意図的に転換する心理学・コーチングの技法です。「見方が変わることによって、言葉かけが変わる」ことを幾度か経験してきました。



リフレーミング前	リフレーミング後
失敗した	→ 挑戦した
どん底だ	→ 伸びしろしかない

3 知識・技術の下支えとなる「価値・倫理」

「見方が変わることによって、言葉かけが変わる」。その下支えとなるのは私たちの価値・倫理。ここでは「成功に導いてあげたい！」という支援観です。これが法人あかりの家においても、根幹となる部分だと思っています。

～ 今後直面する2040年問題(生産労働人口が1,000万人減少)への対策は大きな課題です。そのひとつに、「この仕事のオモシロさ」の発信は欠かせません。

3月

3月11日 工賃支給日

3月21日 1年を振り返る会

3月27日 年度末行事

日本セルフビルメンテナンス・清掃部会研修

1月21・22日の日本セルフセンタービルメンテナンス・清掃部会研修会に参加しました。施設外就労における清掃部門の清掃機種についての紹介もあり、今後の兵庫大学の清掃でも使用できないかなどとても参考になりました。また2日目の施設見学では、実際に施設で清掃用機械を使っている利用者の姿を見学させて頂き、利用者でも簡単に使用できることを学びました。機械での清掃が出来るようになれば、今後利用者さんの一般就労に繋がると思いました。(森川)

見学者より「こんな声」をいただきました

法人あかりの家研修会のSVをしていただいている青山新吾先生のご紹介で、岡山県の小学校の田代百絵 教諭が見学に来られました。目的は特別支援学校高等部卒業後の進路となる<就労B型事業所などの実際の様子や課題>を学ばれたいとのことでした。お聞かせいただいた感想を以下にあげさせていただきます。

- <感想> 驚いたこと
- ・生活介護の利用者においても、就労Bを利用されている方との区別が分からないくらい仕事をされていたこと。
 - ・休憩時間と作業時間の切り替えが、利用者さん自身で出来ていること。
 - ・たたみ班での説明を受ける中で、たたむ枚数=<数の概念>の理解の大切さを感じました。(亀山)



今回の担当は吉永でした

入職して一カ月を終えて

2026年1月よりワークホーム高砂で働かせていただいています。

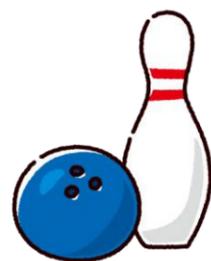
去年いっぱいまでサッカー中心の生活を送っていましたが、今年からは仕事を中心の生活へと変わりました。ある意味「しっかりとした社会人」といったものは今年が初めてとなります。

この1カ月を振り返ると、すごく頭を使ったなと思います。初めてのことが多く、覚えなければいけない種類や色、名前がたくさんありました。終業時間は17:30ですが、仕事の日には毎回、16:00頃から頭痛がしてきていました。毎日必死だったな、と感じます。その分、毎日が濃く充実したものでした。

まだまだ半人前なので、少しでも早く一人前になれるようにこれからを精進して参ります。(平根)

播磨特別支援学校からの実習生

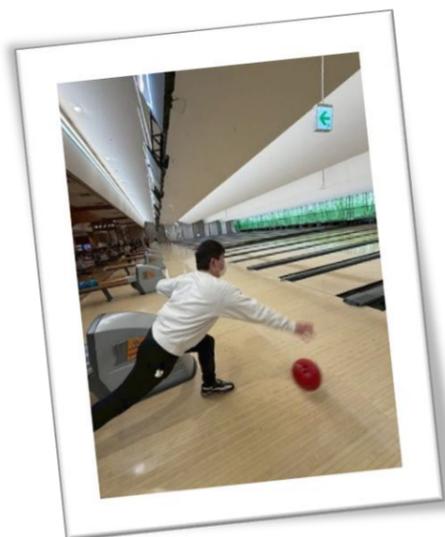
1月19日月曜日から1月30日金曜日の2週間、兵庫県立播磨特別支援学校高等部3年生の生徒さんが実習に来てくださいました。最初は緊張されていましたが、少しずつ緊張も和らぎ落ち着いて作業されていました。手先もとても器用で即戦力でした。少し疲れは見えましたが最後まで一生懸命作業を頑張ってくれていました。働くということを具体的にイメージできる機会になっていればいいなと思いました。(重田)



お楽しみ会



1月24日(土)にお楽しみ会を開催しました。アンケートをとり、ボーリングとカラオケにわかれて行いました。ボーリングは皆さんルールを理解して上手に投げておられました。ストライクやスペアを取って大喜びしている様子も見られました。カラオケは少人数でしたが、それぞれが好きな歌を歌い、全員で盛り上がっていました。仕事では見られない利用者さんの笑顔を見ることができ、職員も嬉しく、楽しむことができました。またみんなで外出できれば良いなと思いました。(新山)



ランキング



ワークホーム高砂 ボーリング大会				
順位	氏名	1G	2G	TOTAL
★ 1位	瀬戸内直人	136	100	236
2位	福田聖悟	113	119	232
3位	柳田悠馬	122	108	230

